

# 県産材でつくる画用木炭

岐阜県立森林文化アカデミー 森と木のエンジニア科 2年 境田夕姫<sup>きかえだ ゆき</sup>

## 要旨

身近な樹木の画用木炭としての利用を検討しました。9樹種と市販品(ヤナギ)について、使用感を調査しました。その結果、アラカシ、クリ、エゴノキが描きやすさ、発色に優れていることがわかりました。市販品として使われるには折れにくいさも重要であることがわかりました。画材としての評価には、練り消しの使い具合が今後の検討課題になると思います。

## はじめに

私は木炭が画材として使われていると知り、画用木炭について研究するきっかけとなりました。身近な県産材で画用木炭として有用な材があるのかを調査しました。

### 1 樹種の選択

スギ、ヒノキ、マツ、竹、エゴノキ、クリ、サカキ、アラカシ、カツラの枝を岐阜県立森林文化アカデミー構内(岐阜県美濃市)で集めました。9樹種から作製した画用木炭と、市販品のヤナギの画用木炭とを比較しました。

### 2 紙の選択

MBM 木炭紙とアトリエ木炭紙を用いました。

### 3 木炭作製

- (1) 枝をスチール缶に入る長さに切り入れます。
- (2) それをコンロで焼きます。
- (3) 煙が出なくなるまで焼き続けます。20～30分でおさまります。
- (4) 火をとめ冷ましてから取り出し完成です。



(1) 枝の用意



(2) 使用した空き缶



(3) コンロで焼く



(4) 完成

#### 4 試し描き

樹種ごとの違いを知るため、モチーフをカップひとつにきめて描くことにしました。最初に美濃和紙でかいてみることにしましたが、描くうちに紙の繊維がほぐれてきてうまく書けず美濃和紙は断念しました。アトリエ木炭紙とMBM木炭紙の2種類で描くことにしました。

[スギ]

手にもった感触や描いた感じがやわらかく思いました。描いた線はぼそぼそとした感じで、描き心地はあまり良くなかったです。

[アラカシ]

色が濃くてなめらかに描けます。手に持った感触や描いた感じがかたく感じました。

[クリ]

色が濃く、なめらかで、きめ細かい線が描けます。しかし、とても折れやすかったです。

[サカキ]

描き心地がなめらかで、やわらかい印象です。しかし、色が薄めです。

[カツラ]

一番色が濃く、線がとてもなめらかに描け、やわらかいです。

[マツ]

描いた感じは硬めですが、描き心地がよく細い線がかきやすかったです。

[竹]

描き心地が硬く、色もかすれてしまい全然かけなかったです。

[エゴノキ]

描いた線がきめ細かくて、とても描き心地がよい樹種でした。

[ヒノキ]

なめらかな線が描け、もった感触がやわらかく、そして軽く感じました。しかし、折れやすかったです。

[ヤナギ (市販品)]

やわらかく軽い力でも描けて、とてもなめらかな描き心地です。濃い色も描けるので濃淡がつけやすいです。

#### 5 アンケート調査

アカデミーの学生、先生で絵を描くのが好きな方、興味のある方に10名にアンケート調査を行いました。調査の方法は、実際に作った木炭で描いてもらい、樹種ごとに1)色の濃さ、2)描き心地、3)折れやすさ、4)線のなめらかさ、5)手に持った感触の5項目について5段階評価していただきました。アンケート結果はグラフにまとめました。

#### 6 結果

9樹種の中でアラカシ、クリ、エゴノキが有用ではないかと思いました。描きやすく、色の濃さも、濃すぎず、薄すぎず、使いやすいからです。この3つの樹種と市販品のヤナギを比較してみました。アラカシ、クリ、エゴノキの使用感は似ていて、色の濃さや描き心地の点ではヤナギよりも勝っていましたが、折れにくさの点ではヤナギが最も優れていました。市販品として使われるには折れにくさも重要であるとわかりました。



**アラカシ**  
色が濃くなめらかにかける

**スギ**  
やわらかい印象、描きごこち×



**サカキ**  
描きやすい、色が薄い

**クリ**  
色が濃い、折れやすい



**マツ**  
描きごこち○、細い線がかきやすい

**カツラ**  
色が濃い、なめらかにかける



**エゴノキ**  
きめ細かい、描きごこち○

**竹**  
描きごこちがわるく、色がつかない



**ヤナギ(市販)**  
描きごこち○、濃淡がつけやすい

**ヒノキ**  
やわらかく軽い、折れやすい

図-1 試し描きのイラスト(左:MBM 木炭紙 右:アトリエ木炭紙)



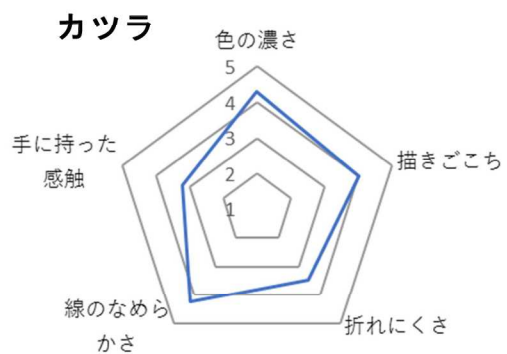
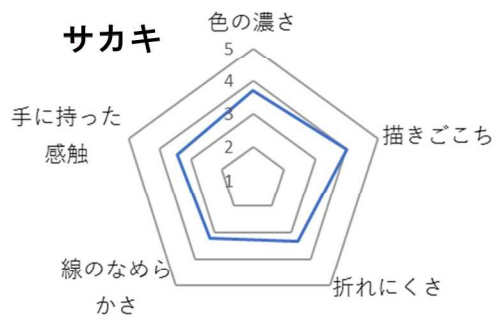
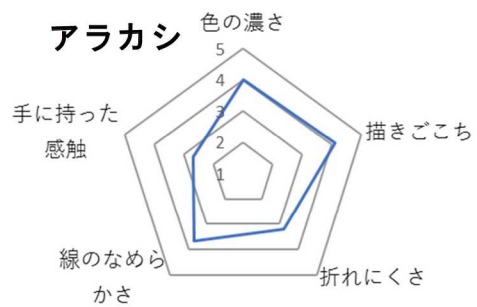
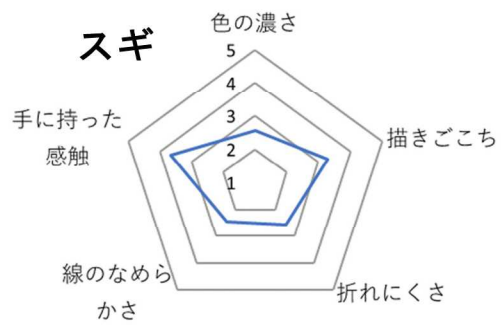


図-2 (その1) アンケート調査の結果

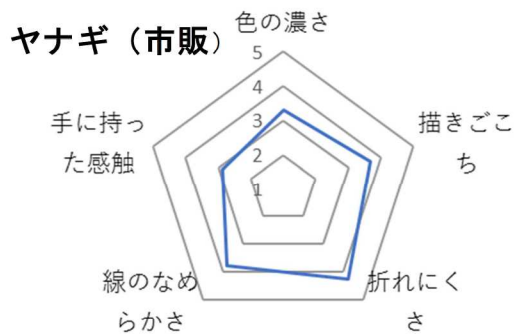
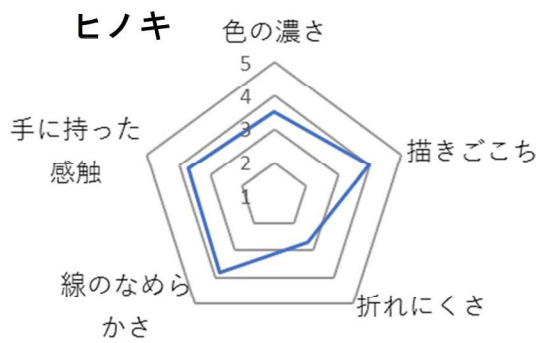
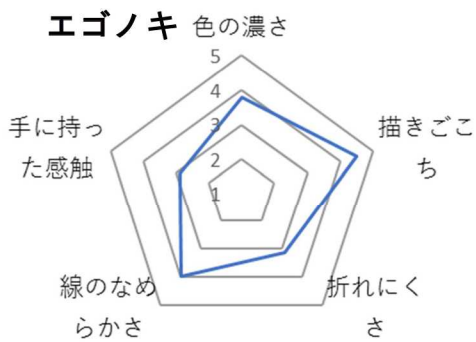
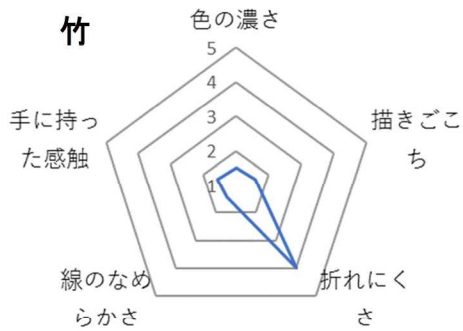
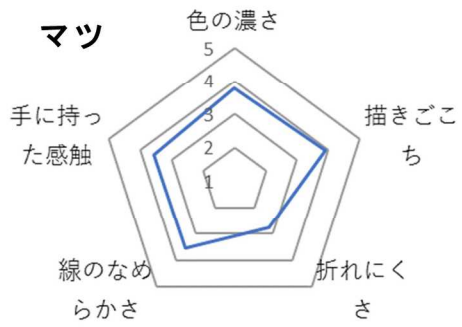
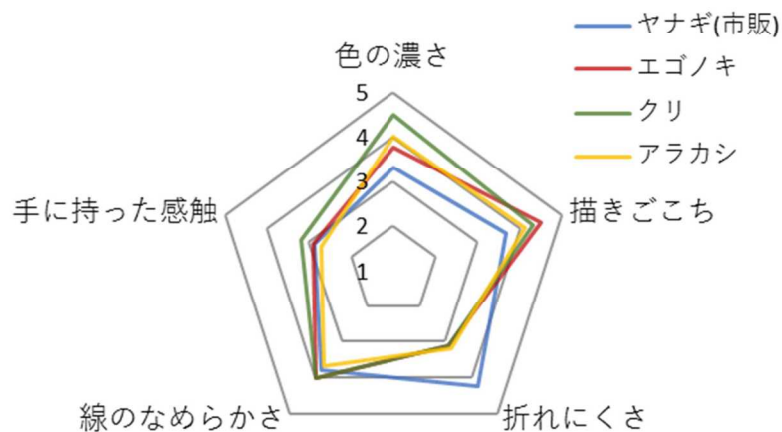


図-2 (その2) アンケート調査の結果



図一 3 有用 3 樹種と市販品（ヤナギ）との比較

## 7 考察

特に有用と思われた 3 樹種について考察します。クリは画用木炭として市販品があるそうです。アラカシは、木炭としてはあまり着目されていませんが、里山にも多く緑化木等にも用いられており、剪定枝の有効利用として可能性が高いと思います。エゴノキの木炭は柔らかく、きめ細かいということが評価されており、漆塗りの仕上げ研ぎとして使われていました。またエゴノキは、和傘の骨を束ねる重要部品である“ロクロ”の部分に使われています。和傘のためのエゴノキを育てるエゴノキプロジェクトという活動が岐阜県美濃市にはあります。ロクロに使うエゴノキは直径 4~6cm の幹です。ロクロには使えない細い幹や枝を画用木炭では活用できます。

今回の研究で、新たに画用木炭としてアラカシとエゴノキが使えるということを発見できてよかったです。なお、画材としての評価には、練り消しの使い具合が今後の検討課題になると思います。



エゴノキプロジェクト



和傘のロクロ

おわりに

本研究に際して、様々なご指導を頂きました松井匠先生、吉野安里先生に感謝致します。また、アンケート調査にご協力いただきましたアカデミー学生と先生の皆様に感謝致します。